

スポーツと社会

科目ナンバリング HSS-201
選択 2単位

浪越 一喜

1. 授業の概要(ねらい)

我が国のスポーツ推進の変遷を通して、スポーツの文化的価値を享受できる社会の実現に向けて、スポーツ指導者として必要とされている資質能力を高め、多様なスポーツニーズに対応できる指導者の育成を目的としている。具体的には、スポーツと社会との関係やスポーツの文化的な価値を理解し、また、グループワークや意見交換を通して、指導者として必要な基礎的な知識や考え方を身につけ、新しい時代のスポーツの在り方を提案できる指導者を育成することを目的としている。

2. 授業の到達目標

- ・社会の中でのスポーツの意義を理解している。
- ・スポーツの文化的な価値を理解し、健全な指導者としての意識・態度を身につけている。
- ・様々な事例を検討し、望ましいスポーツの推進方策を考えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・授業内における各テーマ別提案(40%)、討議参加・コメントの提出(20%)
- ・総括的テスト(40%)

4. 教科書・参考文献

教科書

公益財団法人 日本スポーツ協会 リファレンスブック 公益財団法人 日本スポーツ協会

参考文献

柳沢和雄、木村和彦、清水紀宏編著 テキスト体育・スポーツ経営学 大修館書店

スポーツコンプライアンス教育振興機構 まんがでわかるみんなのスポーツ・コンプライアンス入門 Gakken

5. 準備学修の内容

- ・テキストの内容(各回のテーマ)の概略を予め整理し、事例等の資料収集を行うとともに、課題を明確にしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・健全なスポーツという文化の発展・推進に寄与する立場であることを認識し、積極的に学修に努めてほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション及びスポーツの意義と価値を考える
- 【第2回】 我が国の憲法、スポーツ基本法の解釈からスポーツ権を理解する
- 【第3回】 我が国のスポーツプロモーション政策を概観し、スポーツ権を問い直す
- 【第4回】 グッド・ガバナンスの構築に向けて組織運営を考える
- 【第5回】 スポーツにおけるコンプライアンスを理解し、行動管理の方法を考える
- 【第6回】 スポーツ活動における暴力・ハラスメントの事例から原因を探る
- 【第7回】 暴力・ハラスメントの根絶に向けた意識・行動・組織を考える
- 【第8回】 スポーツ・インテグリティとフェアプレイの違いと重要性を理解する
- 【第9回】 ドーピング違反とアンチ・ドーピング活動について理解する
- 【第10回】 障がい者スポーツの現状と課題について整理する
- 【第11回】 障がい者スポーツの指導者とその養成について検討する
- 【第12回】 事故の発生事例と法的責任の所在を検討する
- 【第13回】 スポーツ事故のリスクマネジメントを考える
- 【第14回】 スポーツに関する紛争の現状を整理する
- 【第15回】 JSAAにおけるスポーツ仲裁のしくみとまとめ(試験)